

ギフトの新たな形を追求

頑張る企業 Vol.73

合同会社吉善

所在地：〒520-3035 栗東市霊仙寺4-10-30

T E L：077-576-1424

U R L：https://www.instagram.com/yosizengift/

Instagram



代表
池田 洋平さん



今回ご紹介するのは、合同会社吉善の池田さんです。もともとECサイトでのギフト販売を個人で行い、10年間の経験を経て、事業拡大を目指し法人化されました。主にギフト商品や雑貨をメーカーや問屋から仕入れ、ネットショップで小売販売されています。仕入れ商品のほか、自社商品の開発にも力を入れておられます。そんな池田さんが開発された「信楽焼に入ったたぬきクッキー」の誕生秘話や、当所で開催した「ふるさと企業いいもの発掘市」での成果とコラボレーションについてお話を伺いました。

信楽焼に入ったたぬきクッキー

商品開発を考えていた際に誕生した「信楽焼に入ったたぬきクッキー」は、もともと信楽焼の窯元と取引があった池田さんが信楽焼の需要が低迷していることに着目し、どうにか広められないかと考えられました。「信



楽焼は素晴らしい素材ですが、伝統工芸品としての位置づけでは販売のハードルが高い。そこで、クッキーを詰める容器として活用することで、食器売り場だけでなく、食品売り場にも展開できるのではないかと考えられた池田さんはこのアイデアを実現するため、障害者施設で作られるクッキーとのコラボレーションを発案されました。

信楽焼は独特の風合いと温かみがあり、使うほどに愛着が湧く器であることが魅力です。その魅力を大切にしながら、現代のライフスタイルに合うデザインを取り入れることを意識し、商品開発に取り組みました。商品発売後は多くの方から支持され、人気を博しておられます。

ふるさと企業いいもの発掘市でのコラボと成果

今年1月に開催された「ふるさと企業いいもの発掘市」で、チョコレート専門店のセラヴィさんとのコラボ商品「信楽焼に入ったたぬきのチョコクッキー」を実現されました。

コラボのきっかけは、「たぬきクッキーにチョコレートを合わせたら、どれだけ売れるのか、どれだけ興味を持ってもらえるのか」という発想でした。そこで、池田さんはセラヴィ

代表の高岡さんに相談し、共同開発がスタート。数量限定という特別感もあり、チョコレート入りのたぬきクッキーは大好評となりました。さらに、この成功の要因の1つとして、池田さんは今回の催事に向けてInstagram広告を活用され、高い集客効果を上げることが成功されました。ターゲット層を年齢で絞りこみ、広告戦略を展開したことが、売上に繋がったと考えられます。



培われた発想力と今後の展望

新商品開発やコラボレーションで様々な発想を展開される池田さんは、長年のギフト販売やEC事業を通じ、消費者のニーズを捉える力を養ってこられたそうです。事業者間のネットワークを活かし、商品の展開に積極的に取り組んでいること、展示会や市場調査を通じて最新のトレンドを把握し、商品の魅力を高める工夫を重ねる姿勢が新しい発想を産んでいるのだと感じました。そんな池田さんは今後の展望として、「既存商品の販売戦略を強化し、より多くの人にその魅力を届けていきたい。」と熱く語られました。これからも新しい形で人と人をつなぐギフトの価値を提供し続ける池田さんの挑戦に期待が高まります。

当所で行う 販路開拓支援

草津商工会議所では、販路開拓支援に継続的に取り組んでいます。「ふるさと企業いいもの発掘市」「キラリエマルシェ」「まちゼミ」「展示会出展支援」など、様々なメニューをご用意しております。皆さまぜひご利用ください。お問い合わせは中小企業相談所（TEL：077-564-5201）まで。